



アクト中食株式会社

住所 : 広島県広島市西区草津港二丁目6-60
創業 : 1911年
資本金 : 70百万円
従業員数 : 532人 (内パート : 206人) 2022年3月末グループ従業員数
HP : <https://www.act-cs.co.jp/company/outline/>
業種 : 業務用総合食品・米穀・全酒類卸売業、
業務用スーパーFC本部運営及び小売業

「三方よし（お客様の繁栄、仕入先様の発展、全社員の幸福）」の経営理念を通して地域の食文化を支えてきた、100年以上の伝統がある企業。

アクト中食には様々な取引先があるが、飲食店のお客様からの発注については、発送までのリードタイムの短さが長年の課題となっていた。長年、お客様の発注方法のIT化に着目していたが、逆転の発想で、受注側の体制をIT化し大幅な生産性向上に繋がった。

かかえていた課題

受注から発送までのリードタイムの短さが課題

飲食店のお客様は、運営で使用する食材の発注を前日の営業後に行うことが多いため、深夜から未明にかけて受注が集中していた。にもかかわらず、商品出荷作業は3時半からスタートするため、受注後に配送のための受発注システム入力に対応にかなりの人員を要していた。また、手作業なため発送ミスもあり、一分一秒を争う食品配送においては大きな課題であった。

この課題に対応すべく独自のWeb受注システム「ACT Net Order」を導入していたが、まだまだFAXによる手書きの注文書が多く残っていた。また、コロナ禍においては発注数量が減少したにもかかわらず発注者数は変わらない現象が発生し、業務効率の改善が急務となった。

ITツールを知ったきっかけ

逆転の発想でプロジェクトスタート

Web受発注システムによりFAXでの手書き発注を減らすのではなく、手書きの発注書が自動で受発注システムにデータ入力される仕組みを作ろうという発想で、プロジェクトがスタートした。

導入したITツール

FAX-OCRシステム（令和3年度導入）

導入ベンダー：クロススマート株式会社

ソフト名：クロスオーダー

取組・効果

発注者側の導入ハードルが低い

発注者にとっては、FAX用紙の形式が変わるだけなため、手書きの発注書からWeb受発注に切り替えるよりも圧倒的にハードルが低く、取組み開始2か月で数百店舗以上が対応してくれた。

労働生産性の向上

深夜の受注スタッフの人員も8名から3名に削減できる見込みで、受注以外の仕事に人員を回せるようになり、労働生産性の大幅な向上が期待できる。



企業から一言

長年の課題に正面から向き合ってきたなか、解決の糸口は「FAXはなくならない」という発想でした。コロナ禍という、飲食業界の危機的状況もあり、IT導入による業務改善は急務でした。

物流業界には2024年問題もあるが、IT技術を活用し労働生産性を向上していくことで、理念の一つでもある「全社員の幸福」を実現していきたいです。